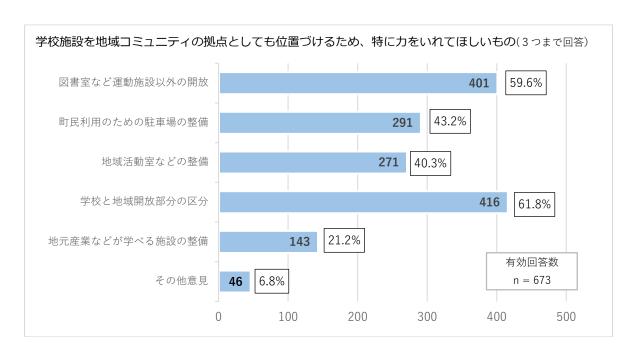
地域コミュニティの拠点形成(目指すべき中学校のあり方 令和4年8月から抜粋)

学校施設は、生徒の学びの場だけではなく、地域のコミュニティの拠点としても位置づけられ、日頃から学校開放などで多くの町民に利用されている。新しい中学校でも、これまでと同様に学校を開放し、町民が様々な活動で利用できるよう整備することが重要である。

町民アンケートでは学校と地域開放部分の区分を明確にすることが特に望まれており、セキュリティ面での対策が必要だと考えられる。また、図書室などの運動施設以外の開放も求められており、町内の他施設との連携も含めて今後の検討が必要である。



○中学校と地域の連携・協働

- ・地域開放施設は利用者へのヒアリングや構想会議から、現在豊山中学校で学校開放を行っている運動施設の他にも、町民が利用できる地域活動室やボランティアルームなどの設置が求められる。コミュニティスクール化を実施していくためには、町民が学校へ積極的に参画できる環境が重要なことから、町民利用施設は今後継続して検討する必要がある。一方でセキュリティの観点から、町民が自由に使用できる空間の区分けは明確に行うことが必要となる。出入口も生徒や教職員との交錯を避けるため専用出入口を設けたほうが良いとの要望もある。
- ・学校への参加促進、利用者への配慮として、来訪者が利用しやすい駐車場の整備が求められる。
- ・一般的な地域開放では教職員に対する負担も考慮し、地域が協力してくれる学校づくりとして、地域と学校の話合いの場を設けるなど、学校施設の地域開放には学校運営のソフト 面の考え方も重要である。
- ・地域の特性を活かした教育として、地元の産業や歴史について学べる機会の創出が期待されており、そのような観点からも地域開放施設の整備を検討する必要がある。

○地域開放、地域施設との複合

- ・生涯学習の観点から、運動施設としてのグラウンドや体育館・武道場などを町民が利用できる施設として開放することが求められる。また、図書室などの開放も期待される。
- ・町内には社会教育センター等の生涯学習施設があり、体育館や図書室などが整備されている。他の公共施設等との複合化の面から、新たな豊山中学校への体育館や図書室などのあり方を検討する必要がある。



地域コミュニティの拠点として、地域や社会の 人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動が展 開できる共創空間のイメージ



他の公共施設との複合化・共用化を図り、 多様な「知」を集積する共創空間のイメージ

図 地域とともに創造する共創空間のイメージ 出典:文部科学省「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議」最終報告 令和4年3月

a) 計画においての基本項目

- ・地域開放部分と学校利用部分はセキュリティ区分を明確に計画する。
- ・地域利用者専用の出入口を設け、生徒・教職員との動線交差に配慮する。
- ・十分な数の駐車場を整備し、地域開放や学校行事等で町民が訪問した際に利用できるよう計画 する。
- ・グラウンド、体育館等は地域開放ができるよう町民の利用も考慮した配置計画とする。

b) 更なる検討項目(基本構想・基本計画段階)

- ・町民が自由に利用できる地域活動室を設置するか検討する。
- ・地域のボランティアが利用するボランティアルームの設置を検討する。
- ・学校内に町民が利用できるコミュニティ広場など、学校と地域の交流空間設置を検討する。
- ・町の生涯学習施設機能の一部としてコミュニティスクール化を今後検討し、セキュリティ面で は地域の協力が得られるか検討する。
- ・地元の産業や歴史について学べる機会を創出するための施設整備を検討する。
- ・記念碑や記念樹木のあり方について検討する。
- ・地域開放にて利用する各団体の器具保管スペースを確保できるか検討する。
- ・体育館や図書室など他の公共施設等との複合化による効果について今後継続検討する。

地域開放機能の基本的な考え方

【地域開放の現状等】

- 〇現在、豊山中学校ではグラウンド、体育館、柔剣道場が地域開放され町民に利用されている。屋上のテニスコートは利用が少ない。
- 〇中学校の特別教室(音楽、美術、理科、技術)は、地域開放した場合でも町民からのニーズは低いことが想定される。
- 〇一方、被服室、調理室については、地域の方に被服・ミシンを教わることや、 調理実習で教わること、炊き出しなどの利用が想定される。

【町民アンケート結果からの考察】

〇目指すべき中学校のあり方(令和4年8月豊山町中学校施設整備基本構想会議)における町民アンケート調査では学校と地域開放部分の区分を明確にすることが特に望まれており、セキュリティ面での対策が必要である。

町民が自由に利用できる地域活動室、ボランティアルームを計画する。

- ○改築候補地が豊山スカイプール・豊山グラウンドの場合は、図書室は社会教育 センターとの複合化を計画し、利便性が高い施設とする。
- ○豊山町の産業や歴史が学べる展示スペースを計画する。
- 〇来訪者が利用しやすい地域開放施設とするため、ゆとりある駐車場を計画する。

【地域開放・町民利用を想定する機能等】

〇グラウンド 〇体育館 〇柔剣道場 〇家庭科被服室・調理室

〇図書室 〇地域活動室・ボランティア室(地域の部屋)

〇展示スペース 〇駐車場 〇校庭